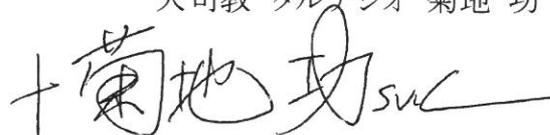


2020年2月26日

カトリック新潟教区の皆様

カトリック新潟教区 使徒座管理者
大司教 タルチシオ 菊地 功



新型コロナウイルス感染症に伴う注意喚起

新型コロナウイルスによる感染症の拡大と重篤な症例が報告されるに至り、一昨日には厚生労働省の専門家会議から具体的な見解が示されました。

感染が拡大する時期にあつて、国の専門家会議は、今後、一から二週間で感染拡大のスピードを抑えられるかどうかの瀬戸際だという見解を示し、大多数が集まり濃厚な接触の可能性のある集会などの自粛が求められています。

新潟教区内では現時点で感染者は報告されていないこともあり、不確かな情報に基づいていざ知らに不安をあおるようなことは避けなければなりません。しかし、日本では毎年この時期に、インフルエンザ感染への注意喚起がなされることでもありますので、ある程度の常識的な感染予防措置をもって備えることは、不特定多数が定期的に集まる教会にあつて、無駄ではありません。

常識的な事もありますが、以下に記す諸事項にご留意くださるよう、お願いいたします。皆様が、教会内外の兄弟姉妹の心身の健康に思いを馳せ、賢明な行動をとってくださることを期待しております。

1: 一般的な衛生対策として、咳エチケットに配慮し、手洗いを心がけましょう。聖堂や信徒会館の入り口に、手指消毒用のアルコールを設置しましょう。

2: 聖堂入り口などに用意された聖水盤は、聖水そのものの危険性ではなく、聖水盤への接触感染の懸念があるため、使用を控えます。個人的に聖水が必要な場合は、司祭にご相談ください。

3: 体調不良の場合は、無理をせずに、ミサの参加の自粛をお願いします。具体的には、咳、発熱、呼吸困難ですが、特に、咳や 37.0℃以上の発熱などの風邪症状がある人は当面の間、ミサに来ることをお控え下さい。

なお2月26日から当面の間、風邪に類似した症状で体調が優れない場合は、主日のミサに与る義務を免除します。

カトリック新潟教区
〒951-8106
新潟市中央区東大畑通一番町656 番地
TEL 025-222-7457
FAX 025-222-7467

DIOCESE OF NIIGATA
656 ICHIBANCHO, HIGASHIOHATA-DORI
CHUO-KU, NIIGATA-SHI
951-8106 JAPAN

4: 不安がある場合、ミサ中にマスクを着用して構いません。また聖書朗読者や先唱者、侍者にあっても、同様にマスクを着用して構いません。

5: 司祭や臨時の聖体奉仕者をはじめ、御聖体を手で拝領する方は、必ずミサ前に十分に手を洗ってください。また、咳や熱がある場合、口(舌)での聖体拝領はご遠慮ください。

6: ミサ中のホスチアや葡萄酒と水の奉納を、当分の間取りやめます。ミサのためのホスチアは、ミサ前に別途用意し、祭壇近くに備えておくようにします。

7: 濃厚な身体的接触を避けるため、平和の挨拶などで握手や、抱擁を取り入れている場合は、それらを避けるようにいたします。

信仰におけるいのちへの希望を掲げながら、愛といつくしみの心を持って、感染した方々の回復と事態の収拾を、わたしたちの母である聖母マリアの取り次ぎのもと、父である神に祈りましょう。